



CHAPTER 44

不明なユニキャスト フラッディングのブロック

この章では、Cisco 7600 シリーズ ルータに、Unknown Unicast Flood Blocking (UUFB; 不明なユニキャスト フラッディングのブロック) 機能を設定する手順について説明します。



(注)

この章で使用しているコマンドの構文および使用方法の詳細については、次の URL にある『Cisco 7600 Series Routers Command References』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/routers/ps368/prod_command_reference_list.html

UUFB の概要

不明なユニキャスト トラフィックは、VLAN 内のすべてのレイヤ 2 ポートでフラッディングします。UUFB 機能を使用すると、この動作を防止できます。UUFB 機能は不明なユニキャスト トラフィックのフラッディングをブロックし、ポートから出力することがわかっている既知の MAC アドレスを持つ出力トラフィックだけを許可します。UUFB 機能は、Private VLAN (PVLAN; プライベート VLAN) ポートも含め、**switchport** コマンドで設定したすべてのポートでサポートされます。

UUFB の設定

UUFB を設定するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	Router(config)# interface {{type ¹ slot/port} {port-channel number}}	設定するインターフェイスを選択します。
ステップ3	Router(config-if)# switchport block unicast	ポート上で UUFB をイネーブルにします。
ステップ4	Router(config-if)# do show interfaces [type ¹ slot/port] switchport include unicast	設定を確認します。

1. type = ethernet、fastethernet、gigabithernet、または tengigabithernet

次に、ファストイーサネットポート 5/12 に対して UUFB を設定し、この内容を確認する例を示します。

```
Router# configure terminal  
Router(config)# interface fastethernet 5/12  
Router(config-if)# switchport block unicast  
Router(config-if)# do show interface fastethernet 5/12 switchport | include unicast  
Unknown unicast blocked: enabled
```